

News Letter

クリスマスコンサート

CC委員会



十二月十八日に院内クリスマスコンサートを開催しました。

昨年、電子カルテ導入の準備があり、一回お休みをして二年ぶりの開催に、「患者さんはたくさん集まってくれるだろうか」「準備は大丈夫だろうか」など不安がたくさんありました。しかし、中村交響楽団のみなさんや幡多看護専門学校の学生さん、ボランティアをしていただいた職員のみさんのおかげで、準備は予定より早く進みました。午後七時の開演時間には、たくさんの患者さんが集まりました。その他にも、ご近所の方やお見舞いに来ていた方、「楽しそうな音楽が聞こえてきたから」といって覗きにこられた方、職員なども参加して楽しいコンサートを開催することができました。

クリスマスシーズンでとっても忙しいなか、院内クリスマスコンサートのためにやってきてくれた（？）サンタさんが、「みんなで想い出に残る時間を過しましょう」というあいさつをしてコンサートが開演しました。



演奏は「クリスマスメドレー」

からは始まり、全九曲。曲目はみなさんよく知っている曲ばかりで、大きな声で歌っている方、口ずさみながら体でリズムをとっている方、みなさん楽しそうに過ごされていました。曲の中には観客も一緒に合唱するものもあり、シンシンと寒い夜に、そこだけポツカリと暖かい空気に包まれたような気がしました。

約一時間のコンサートは「聖夜」の合唱で閉演しました。それぞれの場所へ戻って行くみなさんからたくさんの笑顔を見たきました。コンサートの冒頭でサンタさんが言っていた「想い出に残る時間」を過ごせたのではないのでしょうか。

今、医療を取り巻く環境は大変厳しいものになっています。しかし、来年も、その次ぎも、職員だけでなく、地域のみなさん、患者さん、みんなの力で、あたたかな一時を過ごすことができることを願って……。

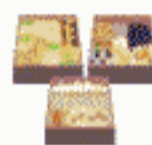


やさしい食生活

新しい年の始まり。

栄養科

お正月にはごちそうがいっぱいですね。みなさんはどんなお正月料理を食べますか？



○おせち料理

【かち栗】

「勝つ」という意味があります。

【鯛】

めでたい魚ということを食べます。

【昆布巻き】

喜ぶに通じるので、楽しく暮らせるようにという願いがこめられています。

【黒豆】

まめ（元氣）で暮らせるようにという願いが込められています。

【里芋・数の子】

子孫繁栄を願っています。

【えび】

腰が曲がるまで長生きできるようにという願いが込められています。

○雑煮

地方によって随分違います。

関東風はすまし仕立て、関西風はみそ仕立て、あんこを入れるところもあります。おもちの形も関東は四角い切り餅、関西は丸餅。焼いて入れたり、ゆでて入れたりとさまざまです。具はその土地でとれる物を入れて作るので、地方独特のものになっています。同じ地方でも家庭によって違います。

みなさんの家の雑煮はどんな「お雑煮」でしょうか。



○七草粥

一月七日には、今年も元気ですばらしい一年を過ごせるようにと、願いを込めて七草粥を作ります。正月からごちそうばかり食べて胃も疲れているので、消化のいいお粥にしたものです。また、冬に不足しやすいビタミンなどの栄養がとれるので、昔の人が考え出したすばらしい生活の知恵でもあるのです。

平成二十一年度新採者研修

（後期）報告

教育研修委員会



平成二十一年度新採者研修（後期）を十二月十五日（火）に実施し、平成二十一年度新採者と平成二十年度採用者でこの研修を受けていない方を対象にした二十三名が参加しました。

新採者研修は、「職務に必要な基礎知識・態度を習得し、職場への適応を図る」ことを目的に実施しており、今回も一日をかけて様々な内容の研修を行いました。

始めに事務部長より病院経営の現状についての講義を受け、病院の収益や費用の仕組み、幅広くけんみん病院の経営状況などについて学びました。普段何気なく使っている医療機器などがすごく高価なものであることに皆さん驚いていました。

次に薬剤科の谷真代さんを講師に医薬品の取り扱いについて学び、薬剤投与や注射時の注意点や間違いやすい点などについて教えていただきました。

続いて、田中薬剤長を講師にコミュニケーションについて、自己分析や他者との係わり方などについて学びました。これに関してでは、時間の都合もあり詳しい自己分析等を行うことが出来なかったのが残念でした。

午前の部の最後として、幡多看護専門学校グラウンドで寒空の下、宿毛消防署の方の指導のもと、消防訓練を行いました。

この訓練では本物の消火器を使って消火訓練を実施し、研修生は慣れない消火器を使って、真っ白な煙を上げながら消火に励んでいました。

お昼をはさんで午後の部ですが、まず大家緩和ケア認定看護師を講師に臨床倫理について学びました。事前に研修生が職場で普段感じている倫理的な問題を提出してもらい、それについて話し合いました。

続いて、救急看護院内認定看護師さんの指導のもと救急救命を実技で体験しました。実際に人形を使い、心肺停止の患者さんを助けるという想定のもと心肺蘇生をグループに分かれて実践しました。医療職以外の者から見ると、難しく見え、繰り返し練習が大事だと思いました。そして、研修の最後として研修生に採用からこれまでを振り返って想うことなどを三分間でスピーチしてもらいました。それぞれが体験した嬉しかったことや辛かったこと、日々の業務で疑問に思っていることなどを率直に発表することにより、お互いを知り、刺激し合う良い発表になりました。



全体を通してみると、様々な分野について学べる内容となっており、新採の方にはとても勉強になった研修だったのではないかと思います。



オリオン座

編集スタッフ

冬のひんやりと澄み切った空のおかげで夜空の星はとてきれいに見えます。その中でも、ひととき目立つのが「オリオン座」です。冬の星座の代表ともいわれています。

「オリオン座」はギリシャ神

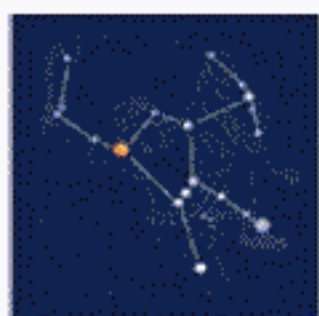
話の狩人オリオンに由来しています。オリオンは海神ポセイドンと女神エウリユアレの子です。背が高く、美男子で、狩りの名人でした。そんなオリオンと月の女神アルテミスは恋をしていました。アルテミスは、狩猟の神でもあり、弓の名手でもあったため、オリオンとの恋に落ちてしまったのです。このことを周りの神々は快く思っていないのでした。アルテミスの兄アポロンもその一人でした。アポロンはオリオンにこっそりと金色の粉をふりかけます。それに気付かないオリオンは金色の粉を付けたまま、父であるポセイドンからもらった能力で、海上を歩いて散歩していました。

そこで、アポロンは、アルテミスを呼び出し、「いくら弓の名手のおまえでも、あの海の沖に金色に輝く光を射抜くことはできないだろう。」と挑発します。これに憤慨したアルテミスは、その光に向けて弓を射てしまいました。その弓は、みごとに最愛のオリオンに命中してしまうのです。浜辺に打ち上げられたオリオンに気づきアルテミスは

泣き崩れました。そして、その悲しみのあまり夜を照らすことすら忘れてしまいました。そこで、ゼウス主神はアルテミスが夜を照らすときに通る天の道のそばにオリオンをあげて星にしました。これがオリオン座です。これによって、アルテミスは月に一回オリオンに出逢えることになりました。

この他にも、「オリオン座」にまつわる話はたくさんありますが、冬の空にキラキラと輝く「オリオン座」にはこの話が一番ピッタリのような気がします。果てしなく遠いところで、ずっと昔に放たれた光が今に届く。たまには、夜空を眺めて、色々なこと、大事な人に思いを馳せてみてはどうでしょうか。

もうすぐ、クリスマス。みなさんにキラキラと光る星空から素敵なサンタが舞い降りてきますように……。



病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

医療機関を受診される際は、**お薬の内容が分かるもの(薬剤情報提供書・お薬手帳など)**を持って行くようにしましょう！

私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

a profession
「専門職」

（11月1日採用）

井上 佳奈 さん

（薬剤科）



Q1 現在の職業（職種）を選択した理由を教えてください。

A1 小学生の頃から薬に興味があり、薬を扱える職業に就きたいと考えていました。

また、患者さんと接することのできる仕事がしたいと思い、薬剤師を目指そうと思いました。

Q2 幡多けんみん病院の第一印象を教えてください。

A2 地域の中心となる、信頼でききる病院と感じました。

Q3 あなたの好きな言葉、あなたの人生において指標としている言

葉を教えてください。

A3 「ありがとう」

Q4 今後の抱負など、広報誌の読者（院内スタッフ、患者さん、その他一般の方）へのメッセージをぜひ！

A4 誰からも信頼される薬剤師になれるよう、日々努力していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

年末年始の外来診療について

12/29 ～1/3	救急外来にて救急患者さんの診察を行います。
1/4以降	通常通り診察を行います。



幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。

11月の統計

外来患者数	12,285人
新外来患者数	2,440人
紹介患者数	371人
新入院患者数	518人
退院患者数	513人
平均在院日数	12.65日
救急車・時間外患者数	2,120人
手術件数	174件